

デザイン芸術学科 雑貨デザイン科					
科目名	アクセサリーデザインⅡ		担当教員	増田 周一	
実務経験	アクセサリー制作会社に勤務し、デザインや制作経験がある。金属造形作家				
履修年次	2	履修学期	前後期	授業形態	実習
授業数	前期26／後期26	単位数	前期4／後期4	必須／選択	必須
授業目的と概要					
シルバーアクセサリーの彫金などによる製造を学習します。コースターなどを例に、デザイン・地金取り・原画トレース・金属のすり出しなどの制作実習と応用。					
到達目標					
デザイン画：制作物のデザイン画とその展開を描けるようになる。 彫金：透しや石どめなどの高度な技術の習得。					
授業内容					
1, 2	ラインワーク／キーチェーン制作／成形				
3, 4	ラインワーク／キーチェーン制作／仕上げ				
5, 6	真鍮板加工／デザイン				
7, 8	真鍮板加工／デザイン、トレース				
9, 10	真鍮板加工／切り出し				
11, 12	真鍮板加工／切り出し				
13, 14	真鍮板加工／切り出し				
15, 16	真鍮板加工／切り出し				
17, 18	真鍮板加工／組み立て				
19, 20	真鍮板加工／仕上げ				
21, 22	真鍮板加工／仕上げ				
23, 24	真鍮板加工／展示				
25, 26	前期まとめ／課題提出確認				
27, 28	リベットアクセサリー／デザイン				
29, 30	リベットアクセサリー／加工				
31, 32	リベットアクセサリー／仕上げ				
33, 34	石留ペンダント／地金取り（外側）				
35, 36	石留ペンダント／地金取り（外側）、ロウ付け				
37, 38	石留ペンダント／地金取り（内側）				
39, 40	石留ペンダント／地金取り（内側）、ロウ付け				
41, 42	石留ペンダント／爪制作				
43, 44	石留ペンダント／爪制作、ロウ付け				
45, 46	石留ペンダント／組み立て				
47, 48	石留ペンダント／組み立て				
49, 50	石留ペンダント／仕上げ				
51, 52	後期まとめ／課題提出確認				
教科書・資料等					
成績評価方法・基準（100点満点、60点以上を合格とする）					
課題評価	60%	出席状況	20%	平常点	20%
100～80点	A評価	79～70点	B評価	69～60点	C評価

デザイン芸術学科 雑貨デザイン科					
科目名	ディスプレイデザインⅡ		担当教員	ヨウル☆プッキ	
実務経験	立体イラストレーション作家を経て、造形デザイン作家として活動している。				
履修年次	2	履修学期	前期	授業形態	実習
授業数	前期39	単位数	前期6	必須／選択	必須
授業目的と概要					
雑貨の陳列・種類、目的などを踏まえたディスプレイデザインを通して物流を学び、販売活動におけるより効果的なディスプレイのテクニックを学習します。					
到達目標					
商品が引き立つディスプレイの技術力を上げ、魅力的にみせるポイントを習得する。また、就職活動の選択の幅を広げる。					
授業内容					
1～3	デザインコンセプト① 知識アンケート・物作りについて、色彩とキーワードを意識				
4～6	デザインコンセプト② 素材・ターゲット・用途など				
7～9	デザインコンセプト③ ボード作り・四季別・〇〇別				
10～12	デザインコンセプト④ ボード作り・四季別・〇〇別（カテゴリ・エリア・イベント性）				
13～15	テーマや素材を掘り下げる、突き詰める①				
16～18	テーマや素材を掘り下げる、突き詰める②				
19～21	テーマや素材を掘り下げる、突き詰める③				
22～24	色と素材の組み合わせ・コラージュ①				
25～27	色と素材の組み合わせ・コラージュ②				
28～30	雑貨屋巡り				
31～33	卒業制作プランニング				
34～36	イメージボード作り				
37～39	前期まとめ／課題提出確認				
教科書・資料等					
成績評価方法・基準（100点満点、60点以上を合格とする）					
課題評価	60%	出席状況	20%	平常点	20%
100～80点	A評価	79～70点	B評価	69～60点	C評価

デザイン芸術学科 雑貨デザイン科					
科目名	雑貨デザインⅡ		担当教員	ヨウル☆プッキ	
実務経験	立体イラストレーション作家を経て、造形デザイン作家として活動している。				
履修年次	2	履修学期	前後期	授業形態	実習
授業数	前期26／後期26	単位数	前期4／後期4	必須／選択	必須
授業目的と概要					
シリコンゴム、キャストによる量産化を学んだり、一点物の作り込みを展開します。販売を意識し、機能性やオリジナリティを生み出す力を養成します。					
到達目標					
一点もの、量産品、それぞれの魅力と強みを理解して作品を制作する。 展示や販売ルートとの兼ね合いを意識出来るようになる。					
授業内容					
1, 2	シリコンモールドによる量産化① 一連の流れ・道具・素材の説明→デザイン				
3, 4	シリコンモールドによる量産化② （平面）革留め／平面造形の原型作り→モールド制作				
5, 6	シリコンモールドによる量産化③ モールド+キャストで量産→バリ取り等				
7, 8	シリコンモールドによる量産化④ （立体）キャンドル/立体物のモールド作り→原型作り				
9, 10	シリコンモールドによる量産化⑤ 量産→仕上げ				
11, 12	シリコンモールドによる量産化⑥ 調整日→最終仕上げ→提出				
13, 14	ガラス加工品① 一連の流れ・道具・素材の説明、ガラス切り・ヒュージング・七宝・グラインダー				
15, 16	ガラス加工品② ステンドグラス→アクセサリ				
17, 18	ガラス加工品③ ステンドグラス→インテリア小物				
19, 20	ガラス加工品④ ガラス作品調整日→仕上げ→提出				
21, 22	トータル雑貨デザイン①刺繍、ガラス、エンボスなどトーン揃えディスプレイ				
23, 24	トータル雑貨デザイン②刺繍、ガラス、エンボスなどトーン揃えディスプレイ				
25, 26	前期まとめ／課題提出確認				
27, 28	ラミネール+さんフェルトで小物作り①がま口、ポーチ類				
29, 30	ラミネール+さんフェルトで小物作り②がま口、ポーチ類				
31, 32	半襟作り①型染め、シルク、刺繍などオリジナル図案で制作				
33, 34	半襟作り②型染め、シルク、刺繍などオリジナル図案で制作				
35, 36	ハロウィンディスプレイ：コンセプトのあるハロウィンを考える①				
37, 38	ハロウィンディスプレイ：コンセプトのあるハロウィンを考える②				
39, 40	粘土各種①シルバークレイ、陶土、ポリマーなど。				
41, 42	粘土各種②シルバークレイ、陶土、ポリマーなど。				
43, 44	インテリア小物①フックドラグのクッションorスツールカバー制作				
45, 46	インテリア小物②フックドラグのクッションorスツールカバー制作				
47, 48	秋・冬のトーンでトータルコーディネート雑貨制作①				
49, 50	秋・冬のトーンでトータルコーディネート雑貨制作②				
51, 52	後期まとめ／課題提出確認				
教科書・資料等					
成績評価方法・基準（100点満点、60点以上を合格とする）					
課題評価	60%	出席状況	20%	平常点	20%
100～80点	A評価	79～70点	B評価	69～60点	C評価

デザイン芸術学科 雑貨デザイン科					
科目名	雑貨デザインプランニング		担当教員	渡邊 亮	
実務経験	インテリアコーディネーター・建築士・アクセサリデザイン制作会社代表				
履修年次	2	履修学期	前後期	授業形態	実習
授業数	前期26／後期26	単位数	前期4／後期4	必須／選択	必須
授業目的と概要					
ターゲットの設定、目的を考えた上での商品企画。ターゲットが欲しいと思うものを企画する。企画したものをブレインストーミングにてブラッシュアップして商品を作り上げる。					
到達目標					
オリジナル商品のアイデア力をUPさせ、企画力や計画力を身に付ける。					
授業内容					
1, 2	授業内容説明：年間スケジュール確認／販売会内容確認				
3, 4	商品企画1 ターゲット設定				
5, 6	商品企画1 コンセプト設定／販売会用作品制作				
7, 8	商品企画1 ブラッシュアップ				
9, 10	商品企画1 原材料費、価格設定／販売会用作品制作				
11, 12	商品企画1 企画プレゼン／販売会用作品制作				
13, 14	商品企画1 制作1／同じ素材で個々にまったく違ったものを制作1				
15, 16	商品企画1 制作2／同じ素材で個々にまったく違ったものを制作2				
17, 18	商品企画1 制作3／販売会用作品制作				
19, 20	商品企画1 ブラッシュアップ				
21, 22	商品企画1 制作4／販売会用作品制作				
23, 24	商品企画1 完成 発表				
25, 26	前期まとめ、課題の確認				
27, 28	商品企画2 ターゲット設定				
29, 30	商品企画2 コンセプト設定／販売会用作品制作				
31, 32	商品企画2 ブラッシュアップ				
33, 34	商品企画2 原材料費、価格設定／販売会用作品制作				
35, 36	商品企画2 企画プレゼン／販売会用作品制作				
37, 38	商品企画2 制作1				
39, 40	商品企画2 制作2				
41, 42	商品企画2 制作3				
43, 44	商品企画2 ブラッシュアップ				
45, 46	商品企画2 制作4				
47, 48	商品企画2 完成 発表				
49, 50	商品企画 まとめ総評				
51, 52	後期まとめ／課題提出確認				
教科書・資料等					
成績評価方法・基準（100点満点、60点以上を合格とする）					
課題評価	60%	出席状況	20%	平常点	20%
100～80点	A評価	79～70点	B評価	69～60点	C評価

デザイン芸術学科 雑貨デザイン科					
科目名	カラークリエイト		担当教員	渡邊 亮	
実務経験	インテリアコーディネーター・建築士・アクセサリデザイン制作会社代表				
履修年次	2	履修学期	前後期	授業形態	実習
授業数	前期13／後期13	単位数	前期2／後期2	必須／選択	必須
授業目的と概要					
色と素材でものづくりを行います。色彩検定のテキストを利用して、色についての知識を実践的に利用します。					
到達目標					
素材にあった着色、また着色方法、手法で視覚に訴える作品を仕上げます。 また、素材にあった工作機器の使い方も取得します。					
授業内容					
1	作家の向け色彩計画。ビジュアルについて				
2	ガラス使った製作技法 1				
3	ガラス使った製作技法 2				
4	ガラス使った製作技法 3				
5	ガラス使った製作技法 4				
6	ガラス使った製作技法 5				
7	演習1: ガラス使った製作				
8	課題1: ガラス使ったオリジナル作品の製作				
9	企画・計画・発表				
10	制作1				
11	制作2				
12	制作3				
13	前期まとめ／課題提出確認 後期予定の確認				
14	演習2：アクリルを使った製作				
15	課題2：アクリルを使ったオリジナル製作				
16	企画・計画・発表				
17	制作1				
18	制作2				
19	制作3				
20	演習3：色彩を利用した作品の製作				
21	課題3：色彩を利用した作品の製作				
22	企画・計画・発表				
23	制作1				
24	制作2				
25	制作3				
26	後期まとめ／課題提出確認				
教科書・資料等					
成績評価方法・基準（100点満点、60点以上を合格とする）					
課題評価	60%	出席状況	20%	平常点	20%
100～80点	A評価	79～70点	B評価	69～60点	C評価

デザイン芸術学科 雑貨デザイン科					
科目名	色彩		担当教員	渡邊 亮	
実務経験	インテリアコーディネーター・建築士・アクセサリデザイン制作会社代表				
履修年次	2	履修学期	前後期	授業形態	実習
授業数	前期13／後期13	単位数	前期2／後期2	必須／選択	必須
授業目的と概要					
色彩効果のビジネス活用を学び現在の課題や今後の制作に活かす。また、色彩の知識を深めるため色彩検定2級を取得する。色彩検定を取得するだけでなく、色彩検定の知識を持って実務に役立つようにする。色のユニバーサルデザインを学び、刻々と変化する社会にあったデザインに対応できるようにする。					
到達目標					
1. 根拠を持った雑貨制作の配色デザインができる 2. 色の役割を理解する 3. 色彩検定2級を取得する					
授業内容					
1	1年間の予定／色のユニバーサルデザイン/色の役割と働き				
2	色のユニバーサルデザイン/色覚説				
3	光と色/光の性質と色・色覚系の構造と色				
4	光と色/照明				
5	色の表示/マンセル表色系1				
6	色の表示/マンセル表色系2				
7	色彩心理/色の色覚効果				
8	色彩心理/色の心理効果				
9	色彩調和/自然の秩序からの色彩調和				
10	色彩調和/自然から学ぶ配色・配色技法				
11	配色イメージ/イメージ別配色方法				
12	配色イメージ/イメージ別配色方法				
13	前期まとめ／課題提出確認 確認テスト				
14	ビジュアル/ビジュアルデザインの色彩・メディアデザインの色彩				
15	ファッション/ファッションの色彩と配色				
16	インテリア				
17	景観色彩				
18	まとめと復習1				
19	まとめと復習2				
20	色彩検定対策1				
21	色彩検定直前対策2				
22	配色実習1				
23	配色実習2				
24	配色実習3				
25	配色実習4				
26	まとめ				
教科書・資料等					
成績評価方法・基準（100点満点、60点以上を合格とする）					
課題評価	60%	出席状況	20%	平常点	20%
100～80点	A評価	79～70点	B評価	69～60点	C評価

デザイン芸術学科 雑貨デザイン科					
科目名	トータルデザイン		担当教員	内藤 秀樹	
実務経験	広告制作会社に勤務し、デザイン制作業務に携わっていた。フリーのデザイナー				
履修年次	2	履修学期	前後期	授業形態	実習
授業数	前期26／後期26	単位数	前期4／後期4	必須／選択	必須
授業目的と概要					
商品知識や流行、店舗運営に関する知識など学習し、自分の作品をブランド化します。					
到達目標					
自分の作品をブランディングし、他との差別化をはかる。 楽しみは何かを忘れない気持ちを持つ。					作る
授業内容					
1, 2	CI・VI：CI・VIとは：自分の好きな企業・ブランドのCI・VIを調べ、レポートにまとめる				
3, 4	CI・VI：CI・VIとは：自分の好きな企業・ブランドのCI・VIを調べ、レポートにまとめる（作業）				
5, 6	ブランドロゴ作成（アイディアラッシュ・ラフ）				
7, 8	ブランドロゴ作成（手描きラフ・イラレデータ作成）				
9, 10	ショプカードデザイン（ラフ・イラレデータ作成）				
11, 12	ショプカードデザイン（イラレデータ作成・データアップ）				
13, 14	販売会に向けたポスタ制作（ラフ案）				
15, 16	販売会に向けたポスタ制作（制作）				
17, 18	8大感性の説明と制作				
19, 20	8大感性の制作				
21, 22	卒業制作の企画書作成				
23, 24	卒業制作作業（企画書など）				
25, 26	前期まとめ／課題提出確認				
27, 28	8大感性の制作				
29, 30	8大感性の制作				
31, 32	8大感性の制作				
33, 34	8大感性の制作				
35, 36	8大感性の制作				
37, 38	8大感性の制作				
39, 40	8大感性の制作				
41, 42	8大感性を元にブランディング（ロゴ・POP・チラシ・リーフ等の作成）				
43, 44	8大感性を元にブランディング（ロゴ・POP・チラシ・リーフ等の作成）				
45, 46	8大感性を元にブランディング（ロゴ・POP・チラシ・リーフ等の作成）				
47, 48	卒業制作本審査に向けた作業時間（コンセプトパネル・POP・その他作成）				
49, 50	卒業制作本審査に向けた作業時間（コンセプトパネル・POP・その他作成）				
51, 52	後期まとめ／課題提出確認				
教科書・資料等					
成績評価方法・基準（100点満点、60点以上を合格とする）					
課題評価	60%	出席状況	20%	平常点	20%
100～80点	A評価	79～70点	B評価	69～60点	C評価

デザイン芸術学科 雑貨デザイン科					
科目名	イラスト雑貨制作		担当教員	佐藤 明美	
実務経験	広告制作会社に勤務し、デザイン制作経験あり。フリーのデザイナー／イラストレーター				
履修年次	2	履修学期	前後期	授業形態	実習
授業数	前期13／後期13	単位数	前期2／後期2	必須／選択	必須
授業目的と概要					
イラストを使用したパッケージや雑貨の作り方を学びます。					
到達目標					
ワンポイント的なイラストが制作でき、それを様々な媒体に活用できるようになる。					
授業内容					
1	オリジナルゴムスタンプを作ろう1				
2	オリジナルゴムスタンプを作ろう2				
3	オリジナルゴムスタンプを作ろう3				
4	オリジナルゴムスタンプを作ろう4				
5	ミニノートを作ろう1				
6	ミニノートを作ろう2				
7	ミニノートを作ろう3				
8	ミニノートを作ろう4				
9	ミニノートを作ろう5				
10	プリント布を作り、小物に仕立てよう1				
11	プリント布を作り、小物に仕立てよう2				
12	プリント布を作り、小物に仕立てよう3				
13	プリント布を作り、小物に仕立てよう4				
14	オリジナルボックスを作ろう1				
15	オリジナルボックスを作ろう2				
16	オリジナルボックスを作ろう3				
17	オリジナルボックスを作ろう4				
18	三角カレンダーを作ろう1				
19	三角カレンダーを作ろう2				
20	三角カレンダーを作ろう3				
21	三角カレンダーを作ろう4				
22	三角カレンダーを作ろう5				
23	アイロンプリントを応用してグッズを作ろう1				
24	アイロンプリントを応用してグッズを作ろう2				
25	アイロンプリントを応用してグッズを作ろう3				
26	アイロンプリントを応用してグッズを作ろう4				
教科書・資料等					
成績評価方法・基準（100点満点、60点以上を合格とする）					
課題評価		出席状況	50%	平常点	50%
100～80点	A評価	79～70点	B評価	69～60点	C評価

デザイン芸術学科 雑貨デザイン科					
科目名	卒業制作		担当教員	ヨウル☆プッキ	
実務経験	立体イラストレーション作家を経て、造形デザイン作家として活動している。				
履修年次	2	履修学期	後期	授業形態	実習
授業数	後期39	単位数	後期6	必須／選択	必須
授業目的と概要					
デザインのコンセプト制作から立体物への展開、プレゼン方法までを学習します。卒業作品審査会・卒業制作展へ向けた準備と取り組み姿勢を学びます。					
到達目標					
2年間で習得した素材知識と技術でデザインされたオリジナル作品を制作。デザインを学んだ学生らしい斬新な卒業作品を作り出すことを目標とします。					
授業内容					
1～3	進捗チェック、個人聞き取り、計画案				
4～6	サンプル&ダミー（プロトタイプ）制作①				
7～9	サンプル&ダミー（プロトタイプ）制作②				
10～12	進捗チェック①				
13～15	進捗チェック②				
16～18	ディスプレイ案チェック、計画再構築①				
19～21	ディスプレイ案チェック、計画再構築②				
22～24	ディスプレイ案チェック、計画再構築③				
25～27	ディスプレイ案チェック、計画再構築④				
28～30	発表用資料チェック①				
31～33	発表用資料チェック②				
34～36	発表用資料チェック③				
37～39	期末チェック				
教科書・資料等					
成績評価方法・基準（100点満点、60点以上を合格とする）					
課題評価	60%	出席状況	20%	平常点	20%
100～80点	A評価	79～70点	B評価	69～60点	C評価

デザイン芸術学科 雑貨デザイン科					
科目名	キャリアガイダンスⅡ		担当教員	萬 あかね	
実務経験					
履修年次	2	履修学期	前後期	授業形態	講義
授業数	前期13／後期13	単位数	前期2／後期2	必須／選択	必須
授業目的と概要					
業界の理解、社会人としての基礎知識UP、個人面談などのカウンセリング。校内行事や研修等の準備、説明などのホームルームを行います。					
到達目標					
希望進路の方向性を決定。報告、連絡、相談を徹底し、自ら進んで物事に取り組む姿勢を身に付ける。					
授業内容					
1	就活スケジュール説明・年間予定表を元にスケジュール作成				
2	年間スケジュール作成②委託販売について				
3	クーリエ梱包・発送				
4	自己管理セミナー				
5	就職活動①身だしなみについて				
6	企業調べ				
7	履歴書の書き方①（自己PR、志望動機説明）				
8	履歴書の書き方②（自己PR文完成）				
9	履歴書の書き方③（志望動機完成）				
10	履歴書の書き方④（メールで履歴書を送信する方法）				
11	送付状、お礼状について				
12	電話のかけ方、受け方				
13	前期振り返り				
14	後期予定表作成、就活について				
15	面接練習①				
16	面接練習②				
17	名刺の渡し方、もらい方				
18	ビジネスマナーテスト				
19	ビジネスマナー答え合わせ				
20	色彩検定自習				
21	社会保険について				
22	ハローワークについて／登録				
23	卒業作品制作				
24	卒業作品制作				
25	2年間まとめ、振り返り、教室片付け				
26	後期振り返り／卒業作品制作				
教科書・資料等					
成績評価方法・基準（100点満点、60点以上を合格とする）					
課題評価		出席状況	50%	平常点	50%
100～80点	A評価	79～70点	B評価	69～60点	C評価